

5月26日古座川町集会・2026原水爆禁止国民平和行進 日本政府は禁止条約に署名・批准を!!



大屋一成町長



洞佳和議員



庁舎内行進 大家町長 伊藤副町長

5月26日(火)晴れ。国民平和大行進は、古座川町に入りました。

新宮東牟婁原水協増田弘さんと県原水協事務局で古座川町総務課を訪問します。大屋一成町長、伊藤眞一副町長と懇談できました。町長、議長からのペナントも受け取り、役場1Fフロアに置いて頂いている「被爆者募金箱」の募金も引き取らせて頂きました。午後3時前、役場庁舎前で集会が始まります。進行は増田さんがおこないます。地元代表として金田眞さんの挨拶です。「今、人類は核による破滅の道を歩むのか、それとも核廃絶によって平和の道を切り開くのか、まさに歴史的帰路にあります。」と訴えます。次いで大屋一成町長が「今年戦後81年を迎え、戦争の悲惨さを直接知る世代が少なくなる中、私達は唯一の被爆国として、その苦しみ、悲しみを全世界の人々に訴えていくのは私たちの使命です。」と挨拶します。続いて議会代表として洞佳和議員が「国連のNPT再検討会議では最終の語彙文書ができず関係者の皆さんの落胆の声が聞こえます。しかし世界の人々はこの危機を乗り越えて必ず核兵器のない世界を実現できると確信しています。」と挨拶されました。県事務局からは「5月7日橋本市を出発し、本日古座川町の平和行進となりました。多くの自治体で首長さん、議長さんに挨拶いただいています。」と報告しました。次いで、わかやま市民生協の鈴木純さんが決意表明をします。最後に集会アピールを岸本芳明さんが読み上げます。町長、副町長も横断幕を持ち庁舎内を歩きます。宣伝カーが町内を平和行進のアナウンスをして走りました。(集会参加10人) 県原水協事務局